個別の教育支援計画②

小学校用

氏 名（ ○○ ○○ ）

記入者（ ○○ ○○ ）

目　標	・落ち着いて学校生活を過ごすことができるようにする。 ・社会性や対人関係を向上させるためのスキルを身に付けることができるようにする。 ・スポーツ少年団の活動等に参加し、充実した休日を過すことができるようにする。

必要な支援内容	実施機関 支援者等	評価・課題
・　落ち着いて学習活動に取り組めるように座席の位置を工夫するとともに、見通しが持てるようにスケジュール表を作成して提示する。 ・　持ち物チェック表を作成し、教師や保護者と一緒に点検する。	○○小学校 学級担任○○○○ 特別支援教育コーディネーター ○○○○ 保護者	・　授業中は周囲に注意がそれることが減った。スケジュールを確認することが習慣となり、見通しを持った行動が増えた。 ・　忘れ物については、持ち物チェック表を活用した保護者との連携により減少してきた。
・　場面の状況を理解して話せるように、絵や写真など視覚的な題材等を使って、場面の説明をする。	○○小学校 通級による指導担当 ○○○○	・　視覚的な情報の提示により、場面の状況の理解が進み、勝手な発言が減少した。
・　危険な場所や入ってはいけない所、触れてはいけないものには、禁止マーク（黄・赤色や×印）をはっておく。	○○小学校児童クラブ指導員 ○○○○	・　禁止されている場所へは行かず、指定されたエリア内で過ごすことができだした。
・　ソーシャルスキルのトレーニングを通して、社会性や対人関係の向上を図る。	発達障害者支援センター ○○○○	・　こんなことを言ったら、相手がどう思うかを具体例を示して理解を図っている。不適切な発言が、徐々に少なくなっている。

支援会議の内容	平成○年○月○日○時～○時 参加者：○○・・・・・ 学校生活、家庭生活の現状の確認をするとともに、落ち着いて学校生活を送るための具体的な手だて、危険な場所へ立ち入らないための手だて等、関係機関で共通理解を図った。

上記の計画について、了承いたします。　　年　月　日

保護者署名　　印